

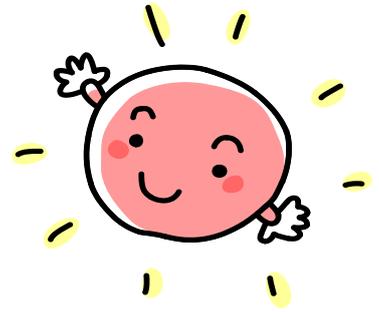


靴をきれいにそろえる素晴らしい心

昇降口の下駄箱を見てみると、全ての子どもたちの靴がきれいに揃えられています。誰に言われるのでもなく、きれいに下駄箱の淵に靴のかかとを揃えています。日常生活の一つ一つにきちんと気遣いのできる子は、誰に対しても優しくできる人間なのだと思います。

生きていれば、楽しいこともあるし、悲しいことやつらいこともあるかと思えます。ちょっとした気遣いをどんなときも続けてやれるということは、とても大切なことですし、強い心を持っているということだと思います。

中野小学校の子どもたちの素晴らしい心を大切に育てていきたいと思えます。



本当の勇氣とは

古代ギリシアの哲学者・アリストテレスの言葉に次のようなものがあります。

勇氣は、行き過ぎた勇氣である「無謀」と勇氣の不足である「臆病」の”中間”の状態にあるとき、初めて徳として成立する。

勇氣という言葉“正義”という言葉に置き換えて考えることもできるかもしれません。何が正解か判断するのが難しい時代ですが、様々な価値観がある中で、子どもたちには、自分だけが利益を得られるのではなく、みんなが幸せになるための“勇氣”や“正義”とは何かについて、道徳の授業や様々な教育活動を通じて、『自分なりの価値観』を身に付けてもらえたらと考えております。

子どもたちと一緒に私たち教職員も考えて参りますので、是非保護者の皆様にも御協力いただけたらと思います。

学びのつながり（連続性）



1時間1時間少しずつですが、子どもたちの学びにリズムが出てきました。ただし、子どもたちが学んだことを確実なものにしていくためには、家庭学習とのつながりがとても重要です。

特に、今年度につきましては、臨時休業が長かったこともあり例年以上に家庭学習の重要度が増しております。

担任からもお子様の実態に応じて話があるかと思えますが、保護者の皆様におかれましても、別紙資料『家庭学習の充実で「自ら学びをマネジメントする力」を！』を熟読の上、御協力いただければと思います。何卒、宜しくお願いいたします。

【校長のつぶやき】

○ 6年生の佐藤 生希（さとう うぶき）さんのあいさつは、いつも笑顔で元気がよく、ピカイチです！

